

事務事業評価票

所管部長等名	健康福祉部長 上田 淑哉
所管課・係名	障がい福祉課 生活支援係
課長名	碓塚 康浩

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	災害見舞金等支給事業		「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	
会計区分	一般会計			
予算の事業名	災害見舞金等支給事業			
事業コード(大-中-小)	51	01	14	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第1章 誰もがいきいきと暮らすまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③ 健やかに暮らせるまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	① 保健・福祉・医療の連携強化		
	具体的な施策と内容	(2) 地域福祉の推進		
根拠法令、要綱等	八代市災害見舞金等支給規則			
実施手法 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()		法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	災害(暴風、豪雨、地震その他の異常な自然現象による被害又は火事等による被害)の被災者	不測の災害を被った市民に対する扶助となることにより、社会福祉の役割を果たす。
事業開始時点からこれまでの状況変化等	八代市災害見舞金等支給規則に基づき、暴風・豪雨・地震その他の災害により被害を受けた市民に対して迅速にその内容を確認し、支給要件に該当する場合に弔慰金や見舞金を支給する。 (平成24年度からの弔慰金(見舞金)額) 全焼・全壊・流失 100,000円 半焼・半壊 50,000円 床上浸水 10,000円以内 死亡 100,000円(同一世帯内2人以上 200,000円) 行方不明 100,000円(同一世帯内2人以上 200,000円) 重傷 30,000円(同一世帯内2人以上 50,000円)		
平成20年度に被害区分の見直しを実施、さらに22年度事業仕分けの結果を受け、他市の状況等を踏まえ、24年度から次のとおり支給金額の見直しを実施している。 死亡 200,000円 → 100,000円(同一世帯内2人以上 400,000円 → 200,000円) 行方不明 200,000円 → 100,000円(同一世帯内2人以上 400,000円 → 200,000円) 重傷 100,000円 → 30,000円(同一世帯内2人以上 200,000円 → 50,000円)			

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	2,040	1,320	1,550	1,520	1,520	1,520	
	事業費(直接経費)	千円	1,620	900	1,130	1,100	1,100	1,100	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
	一般財源	千円	1,620	900	1,130	1,100	1,100	1,100	
概算人件費(正規職員)	千円	420	420	420	420	420	420		
正規職員	従事者数	人	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	
臨時職員等従事者数		人							

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①								
②									
(記述欄)※数値化できない場合 災害被害に対する弔慰金や見舞金の支給という事業の性格から、成果を数値化することはできない。									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A （現状分析等） 事業の必要性は高いとはいえないが、弔慰や見舞いの表意という点 では、継続するのが望ましい。 しかし、社会福祉協議会の事業とも重複しているところから、内容の 検討も必要。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか（国・県・民間と競合していませ んか）	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A （現状分析等） 経済的、精神的な援助により、一定の目標達成はできている。 金額等の見直しは継続的に実施する必要がある。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A （現状分析等） 見舞金の支給であり、支給額については今年度から見直し済みである。 また、当該事業の他に類似する市の事業はないため、その連携につ いての検討は必要ない。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止）	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 （該当欄を●）	<input type="radio"/> 不要（廃止） <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による（民間委託の拡大・市民等との協働等） <input type="radio"/> 市による実施（要改善） <input checked="" type="radio"/> 市による実施（現行どおり） <input type="radio"/> 市による実施（規模拡充）	（今後の方向性の理由） 今年度支給分から金額の見直しを行っていることから、当面現行どおり実施していく。																							
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果																								
	改革改善による期待成果																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td align="center">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								

外部評価の実施	有：外部評価（市民事業仕分け）	実施年度	平成22年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	（委員からの意見等）
--------------------------	------------